

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第41号—

令和3年2月16日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

ありがとう

ミッキーマウスで有名なウォルトディズニーは、「人は汚いところでは平気で汚すけれど、いつもきれいで整理整頓されているところは絶対に汚さない」という考えを持っていました。ディズニーランドの園内の清掃に携わるキャストのことを「カストーディアル キャスト」と呼ぶそうです。カストーディアル キャストは、もちろんディズニーの理念を遂行しているのですが、実際は、園内にほとんどごみが落ちていないそうです。では、そこにどのようなミッションがあるのでしょうか。

「ごみを拾おう」「写真を撮ろう」「案内しよう」この3つがカストーディアル キャストの役割で、1日平均で20km歩き、150～200名のゲストと話をするそうです。「写真をお撮りしましょうか。」「何かお困りですか。」と声をかけると、ゲストから魔法の言葉が返ってくるのだそうです。

「ありがとう」

通常お店などでは、従業員が顧客に「(御来店) ありがとうございます。」ということが多いですが、ディズニーでは、「相互のありがとう (ございます) の場」を創ることが大切であると言っているのです。カストーディアル キャストは、自分の役割に居場所を感じ安心感をもちます。そして自己有用感を感じるそうです。

仕事には2段階あり、やらなくてはならないことは「作業」であり、いつだれがやっても同じ結果を生む仕事だそうです。そしてその「作業」の上に「役割」があるそうです。「役割」は、自分の頭で考える本来の仕事です。ディズニーのキャストは、いつもこう問われるそうです。「あなたの役割は何ですか。」と

人は誰もが必ず「存在意義」とその「役割」をもっています。津吉小学校の子どもたちにも、自分の良いところをたくさんみつけ、学校・家庭・社会の中での「役割」を明確にしていく教育をしていきたいと思ひます。一人ひとりが自己実現のために、自己の「役割」を考えそれを遂行していくことの重要性を学ばせていきたいと思ひます。子どもと職員・保護者と地域の皆様が相互に「ありがとう」などのあいさつにあふれる学校にしていきたいと思ひます。

第3回スピーチ大会を開催しました

昨日、自分の考えを文章にまとめ全校児童の前で発表するスピーチ大会を開催しました。各学年から選ばれた代表児童が、1分程度のスピーチを大きな声で堂々と発表することができました。この取組により、話す力や表現力が高まるとともに、多様な考えに触れて視野・思考が広がることを期待しています。

学年	代表者	発表題名
1年	江川 芽依	一日入学
2年	濱道 杏奈	はねつきの遊び方
3年	石元 彩愛	中津良ホテル祭りってどんな祭り
4年	吉永 希愛	発表の声が大きくなった
5年	山口 花奈	落ち着いて過ごそう
6年	下門 和弥	手塚治虫の願い



